

スマイリング Smiling

思いをカタチに ともに創る 笑顔の学校



東郷小 親子凧作りの様子

令和6年度
テーマ

「ふるさと三川」に思いを寄せる子どもの育成

今年度の学校運営協議会では、
「ふるさと三川に思いを寄せる子どもの育成」をテーマに、話し合いを進めてきました。
第3回学校運営協議会ではこれまで進めてきたことや
学校の1年間の取り組みについて振り返りました。

各学校の「三川ふるさと学習」では、「地域」への関心をさらに高める取り組みを行うとともに、多くの人と接し、地域の人と触れ合う機会を大切にしています。

地域行事で楽しかったこと、地域の人に接して感じた人の温かさの思い出は、子どもたちが、将来、三川町に残っても離れても心に残っていきます。小・中学生の時にどれだけ地域と深くつながりをもてるかが「地域愛」を育む上で重要だと考えます。

地域では大人が、子どもたちと地域がつながる機会を意図的に仕組んでいくことも必要です。

子どもだけでなく、大人も三川町に誇りを持ち、地域を大切に考え、三川町を好きになっていくことで、「ふるさと三川」に思いを寄せる子どもが育っていくと考えます。

地域について小中学生が学んでいることを、各協議会の委員の皆さんに紹介し、熟議テーマを考えるきっかけにいただきました！



生徒が主役で楽しい学校を！ ～令和7年度学校運営方針の抜粋～

横山小学校

- 「少数精鋭」「一騎当千の強者」の如き、学びの力をもった子どもたちを育てる。
- 探究的に学び合い、見方や考え方を深める教育課程とします。6年生の修学旅行や5年生の自然教室等、子どもの手に委ねられるものは子どもに任せ、行事を授業化・探究化し、教えられ、やらされる行事から、可能な限り児童主体で探究化された内容に変えていく。
- 地域防災、学校防災について考えていく。特に、震度5を超える地震や豪雨水害への対応について、学校の立場から検討する。子どもたちの帰宅や引き渡しの判断。子どもを帰宅させられない時の水や補食の備蓄を検討する。

東郷小学校

- 「思い描く学校を共に創り上げる子」の学校目標。3年目になり、意識が下降ぎみになってきた。今の学校目標の思いを大切にしながら、若干の変更を加えて、みんなが共有しながら取り組めるよう簡潔でわかりやすいものにしていく。
- 東郷小として大切にしている相撲大会、東郷祭、凧揚げ等はこれまで通り計画している。「東郷小は、地域と共にある学校」を大切にしたい。7月上旬に修学旅行、10月に自然教室を配置している。
- 11月に、祖父母参観を変更し、「ファミリー参観日」を設定した。家族で参観できるようにしていく。

押切小学校

- 学校目標 「いのち輝き かしこく やさしく たくましい 子どもの育成」
～新しいことに挑戦・みんなで知恵を出し合って・本気で取り組む～を考えている。
- めざす子ども像の若干の変更を考えている。ワクワクのところを、「物事を自分事として本気で学ぶ子ども」。ニコニコのところを、「互いに認め合い、笑顔きらめく子ども」。イキイキのところを、「進んで体をきたえ、元気な子ども」と変える予定。
- ペア・グループ学習による協働的な学びと個の学びに対応したTT学習を推進し、子どもたちが自分の思いや考えをより話せる授業にしていく。
- 「三川ふるさと学習」や山形大学とのつながりで総合的な学習を充実していく。

三川中学校

- 準備された話題に対して自分の考えを他者に伝えること（構成的グループエンカウンター）や、困った時にどうすればよいか等の意見交換（ソーシャルスキルトレーニング）を活用した活動を各学年や生徒会で取り組み個々の力を高めていく。
- 総合的な学習の時間については、内容の見直しと年間計画の構築を図っていきたい。プロジェクトチームを立上げ取り組むつもりである。1年生は、地域学習、2年生は職場体験、3年生については、三川町の課題について学習し情報発信ができればよいと考えている。